

令和2年度 十和田市立三本木小学校 学校だより

令和2年8月24日(月)

杉の子

No. 7

文責：校長

十和田市東三番町36-1
TEL 23-7178
特別支援教育センター
TEL 23-9553

いよいよ充実の2学期

校長 江 渡 準 悅

初秋の候 保護者や地域の皆さんにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。感染症の影響で、今年の夏は、例年のような過ごし方ができなかつたご家庭がほとんどだったのではないでしょうか。

さて、先週の木曜日より2学期がスタートいたしました。とても短い夏休みでしたから、子供たちの様子がとても気になっておりました。まだ休みたかったような表情の子供も見られましたが、夏休みの宿題を頑張った子、暑さにも負けずにスポーツ少年団の活動を頑張った子、ゆっくりと体を休めていた子などそれぞれに充実した夏休みを過ごしたようです。

また、2学期最初の学級だよりには、宿題の丸付けや作品作りのアドバイス、そして、何よりも子供たちが大きな事故や怪我もなく、無事に夏休みを過ごせたことについて、保護者の方々への感謝の気持ちが、多くの学級で書かれてありました。

私も同じ気持ちであります。年度当初、断続的な約2か月間の休校があった後の、子供たちの様子をとても心配しておりましたが、スムーズに学校生活を再開することができました。この時も、生活リズムが崩れないように、学習が遅れないようにと、保護者の方々がご協力くださったことを、とても有り難く思いました。

2学期始業式では、子供たちに頑張ってほしい事を話しました。

(前略) 1学期はコロナ感染症の影響で、できなくなつた行事、延期した行事など様々ありましたね。2学期は、感染症の予防に充分に努めながらも、どうやつたら去年までできていたことができるだろうって、考えていきたいと思います。体育館での全校集会、音楽の歌の練習、施設の見学や5年生の宿泊学習、運動会の代わりの体育フェスティバルなど、楽しみな行事がたくさんありますね。学級会や代表委員会などで、「これならできる」、「こうしたら、できないと思っていたことができそうだ」って、皆で考えていきましょう。

- コロナの「こ」は、→こんなこともできるの「こ」
- コロナの「ろ」は、→いろいろできるの「ろ」
- コロナの「な」は、→なんだってできるの「な」

全校児童と職員の皆さんで、できることをたくさん見つけていきましょうと、話して聞かせました。

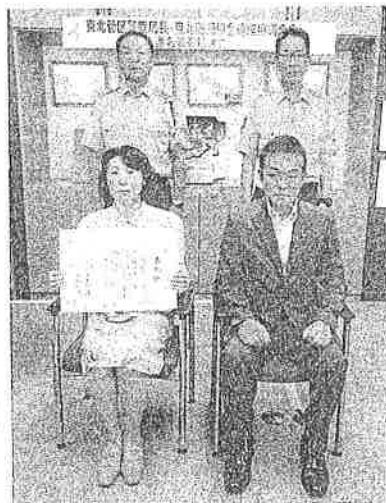
このような考え方をしていけば、このコロナの状況はただの辛い状況ではなく、今までにない、新しい形を考えるという、期待感さえ見えてきます。

2学期も、保護者の皆さまのご協力やご期待に充分に応えられるよう、職員一同、しっかりと気を引き締めて、教育活動の充実を図って参りたいと思います。

三小学区防犯パトロール隊 「東北管区警察局長賞」受賞

三小学区防犯パトロール隊の活動は、ご存じのことと思います。月に約10日間と始業式・終業式の日や、有事の際（鳥獣や不審者の出現時など）の子供たちの登下校の見守りをしてくださっています。発足より13年経ちますが、長年にわたり地域の防犯活動に尽力した功労が称えられ、「東北管区警察局長と東北防犯協会連絡協議会長」の連名による『優良防犯団体表彰』を受賞いたしました。

このように、本校の児童は、地域の約70名の方々に見守られながら登下校をしております。本当に心強い限りです。これからもよろしくお願ひいたします。（写真：前列左が、代表の佐藤やえさんです。）



始業式での話 その2



始業式では、現在、長い闘病生活を終え、今月末に復活の大会出場を目指している競泳選手 池江璃花子さんについて話しました。

東京オリンピック出場と金メダル獲得を目標に、絶好調で調整を進めてきたけれど、突然の重い病気を発症し、大きく打ちひしがれてしまったこと。

それでも、池江選手は『もう一度、プールに戻りたい。』と、その一心でつらい治療にも取り組みましたが、その治療は、想像していたことより、数十倍、数百倍、数千倍も辛い治療だったこと。そして、ついに練習再開まで漕ぎ着けたことを話しました。

この話を通して、子供たちには、池江選手のような考え方ができる人になってもらいたいと思っています。池江選手は病気になっても、「もう一度、プールに入りたい、もう一度、オリンピック選手になりたい」という希望を持ちました。子供たちにも、この2学期、まず、『どうなりたい』『何ができるようになりたい』という、希望を持ってほしいと思います。そして、池江選手のように、希望の実現のためには、どんなに辛くても諦めない。一步でも二歩でも前に進めるよう、頑張る子供になってほしいと思っています。このような子供たちを育てられるよう、我々教職員も様々な工夫を凝らしていきたいと考えております。

（池江選手の写真は、『池江璃花子オフィシャルサイト』より転載）